東京文化財研究所主催

シンポジウム「考古学と国際貢献：エジプト考古学と国際協力の軌跡」

Symposium: Archaeology and International Cooperation in Egypt

2025 年 5 月 10 日（土）　09：30〜17：40（9：00 開場）

会場：東京文化財研究所　　言語：英語（日本語要旨配布）　参加費：無料

事前申込制（定員 120 名）　申込フォーム⇒https://forms.office.com/r/K5vjv5L199

申込フォーム

東京文化財研究所では、2021 年度より「考古学と国際貢献」を共通テーマとする国際シンポジウムをシリーズ開催しています。
今回はエジプトにおける国内外の活動をテーマに、エジプト観光考古省考古最高評議会の考古保存記録部長であるヒシャーム・エルレイシー博士と、チェコ共和国カレル大学教授のミロスラフ・バルタ博士をお招きし、基調講演をいただくことになりました。併せて、この分野で活躍する日本の専門家にご参集いただき、それぞれの研究成果および国際協力活動ついてご発表いただきます。

プログラム

第 1 部　　基調講演

09：30〜09：35　開会挨拶：東京文化財研究所所長　齋藤孝正

09：35〜09：45　来賓挨拶：東日本国際大学総長　吉村作治

09：45〜10：00　講師紹介：東京文化財研究所　山田綾乃

10：00〜11：00　基調講演：Dr. Hisham Elleithy
ヒシャーム・エルレイシー博士（エジプト観光考古省考古遺跡保存記録部長）
"Recent and Ongoing International Joint Projects for the Egyptian antiquities."

11：00〜12：00　基調講演：Dr. Miroslav Bárta
ミロスラフ・バルタ博士（チェコ共和国・カレル大学教授）
“Rediscovery of the Mariette's cemetery at North Saqqara - Czech-Egyptian cooperation”

12：00〜14：00　昼休憩

第 2 部　　日本隊による国際協力の現場

14：00〜14：20　クフ王第 2 の船保存修復・復元プロジェクト：東日本国際大学　黒河内宏昌
東京文化財研究所　山田綾乃

14：20〜14：40　イドゥートのマスタバ墓壁画保存修復：関西大学　吹田真里子

14：40〜15：00　北サッカラ遺跡発掘調査：筑波大学　河合望

（10 分休憩）

15：10〜15：30　ルクソール西岸アル＝コーカ地区発掘調査：早稲田大学　近藤二郎

15：30〜15：50　アメンヘテプ 3 世王墓壁画保存修復：東日本国際大学　西坂朗子

15：50〜16：10　GEM-CC (Conservation Center), GEM-JC (Joint Conservation) プロジェクト
：筑波大学　谷口陽子

（10 分休憩）

16：20〜16：40　アコリス遺跡発掘調査：東京都立大学　花坂哲

16：40〜17：00　コーム・アル＝ディバーゥ遺跡発掘調査：東日本国際大学・早稲田大学　長谷川奏

17：00〜17：30　ディスカッション（進行状況により形式を変更する場合があります）

17：30〜17：40　閉会挨拶：東京文化財研究所副所長　友田正彦

問い合わせ先：東京文化財研究所　山田綾乃　yamada-a2y@nich.go.jp